



**第17期**

**ヤングエグゼクティブ・プログラム**

**2026年度 開講**

**KAL**

THE KYUSHU-ASIA INSTITUTE OF LEADERSHIP

## 【 プログラム趣旨 】

近年、激変する世界情勢や複雑化する社会課題、DXの進展による産業構造の変化など、国内外を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした時代に求められるのは、**既存の価値観にとらわれず、多様な視点で物事を捉え、自ら道を切り拓くリーダー**です。その土台となるのは、知識やスキルだけでなく、「何のために行動するのか」という自身の志や在り方です。

九州・アジア経営塾では、主幹プログラム（碧樹館プログラム）よりさらに若い世代を対象に本プログラムを開講し、今年度で17期目を迎えます。

各界の第一線で活躍する講師陣との学びや、多様な仲間との対話を通じて、自分自身と向き合いながら、次世代を切り拓くリーダーに必要な志・知恵・実践力を養います。

## 【 GOOD TEAM ～一人ひとりの“在り方 (Be) ”が、チームを創る～ 】

本プログラムでは、講義で得た学びを実践へとつなげる場として、継続型ワークショップ「GOOD TEAM」を実施します。（第3回、4回、8回、9回、14回）

**自分自身は何を大切にし、どのような姿勢で周囲と向き合うのか――**。一人ひとりの「在り方 (Be) 」が、チームや組織の風土を形づくり、周囲へ影響を与えていきます。

ヤングビジネスパーソンが社会や市場の変化に適応しながら、自社・自組織の課題解決に挑戦し、**対話・実践・振り返りを繰り返すチームビルディングサイクル**を通じて、互いに学びを深めます。また、チームや職場での議論やインタビューを通じて、小さな成功体験を積み重ねることを習慣化し、その過程で自身の在り方を見つめ直しながら、組織改革を担うリーダーへと成長していきます。

最終セッションでは、これまでの学びと実践の集大成として、成果プレゼンテーションを公開します。

## 【 プログラムテーマ 】

**“ 自らの殻を知り、破り、創造と実践へ ”**

### 【 開講目的 】

#### ① 「知らないことを知る」～無知の知を知る～

- ・次世代リーダーとしての学び方を学ぶ
- ・各界の経営者、プロフェッショナル講師から実践知を学ぶ

#### ② 「私（個）から私たちへ」～多様性を集合知へ～

- ・個の力を、Teamとして集合知へ包含する
- ・リーダー、フォロワーとしてのTeam Building を実践する

#### ③ 「組織人として目標を定める」～学びを知恵に変え、知恵を行動へ変える～

- ・組織人として成長成果を組織へ還元（貢献）する
- ・自らのやりたいこと（will）を決意表明する

# 開催日程

テーマ・開催時間等は、登壇講師と調整中のため仮予定です。（8月下旬までに正式にご案内予定）  
また、開催日程は講師都合により変更になる場合があります。

ガイダンス	9月9日（水）	オンラインガイダンス ※ZOOMにて実施予定
第1回	10月8日（木）	※開講合宿 セッション「リーダーシップ」/セッション「起業家のように企業で働く」
第2回	10月9日（金）	※開講合宿 セッション「対話力が変革の鍵を握る」/寺子屋リーダーシップ対話
第3回	10月19日（月）	セッション 「GOODTEAM～メンバー一人ひとりの在り方がチームを創る～①」
第4回	10月20日（火）	セッション 「GOODTEAM～メンバー一人ひとりの在り方がチームを創る～②」
第5回	11月11日（水）	セッション / 寺子屋式リーダーシップ対話 ※福岡市美術館にて実施予定
第6回	11月25日（水）	セッション 「経営数字 入門」
第7回	12月9日（水）	セッション 「経営戦略基礎/聞く力」
第8回	12月22日（火）	セッション 「GOODTEAM～メンバー一人ひとりの在り方がチームを創る～③ 中間発表」
第9回	12月23日（水）	セッション 「GOODTEAM～メンバー一人ひとりの在り方がチームを創る～④」
第10回	1月13日（水）	セッション 「実践JOB 理論」
第11回	1月21日（木）	セッション 「多面評価フィードバック」/「GOODTEAM Q&A ※参加任意」
第12回	2月2日（火）	フィールドトリップ ※立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）にて実施予定 寺子屋式リーダーシップ対話 / セッション「DE&I」
第13回	2月24日（水）	セッション 「企業におけるイノベーションの推進力学」
第14回	3月10日（水）	セッション 「GOODTEAM～メンバー一人ひとりの在り方がチームを創る～⑤ 最終発表」
修了式	3月11日（木）	修了式/修了パーティー

## 【参考】2025年度 第16期 登壇講師

セッション



### 「経営戦略基礎/聞く力」

井上 潤吾 氏

ホストン・コンサルティング・グループ  
マネージング・ディレクター&シニア・パートナー 福岡オフィス代表

セッション



### 「起業家のように企業で働く」

小杉 俊哉 氏

合同会社THS経営組織研究所 代表社員  
ビジネス・ブレイクスルー大学大学院 経営学研究所 客員教授

セッション



### 「チームビルディング」

齋藤 秀樹 氏

株式会社アクションラーニングソリューションズ 代表取締役

セッション



### 「対話力が変革の鍵を握る ：組織開発への誘い」

田村 馨 氏

福岡大学商学部 教授

セッション



### 「Leveraging Diversity for Creative Thinking and Inclusion」

アルカンタラ・ライラーニ・ライネサ 氏  
立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 教授

セッション



### 「実践JOB 理論」～マーケティング～

早嶋 聡史 氏

株式会社ビス・ナビ&カンパニー 代表取締役社長

セッション



### 「企業におけるイノベーション の推進力学」

本間 善丈 氏

株式会社ライス・コンサルティング・グループ Associate Partner  
株式会社ライス・クロス 代表取締役社長

寺子屋



### 「“失敗の中で見つかる宝石” “社長が教えてくれること”」

吉村 拓二 氏

株式会社ふくや 支援部執行役員部長  
第4期若樹館プログラム卒業生

寺子屋



### 「勝利のその先にある大義と つながり」

廣瀬 俊朗 氏

株式会社 HIRAKU 代表取締役

寺子屋



### 「行動力で未来を拓く」

西村 勝 氏

久山町長

## 【 募集要項 】

### 1. 募集人員

#### ① 定員36名

- ・原則として1企業団体から1名を上限といたします。
- ・グループ会社内で複数名派遣の場合は、企業毎に1名カウントいたします。
- ・個人で申込みを希望される場合は、事務局までお問い合わせください。

### 2. 求める塾生像

- ① 自らの成長を求め、「課題」と「自覚」を持ち、積極的に臨める人財
- ② 自分事として捉えられ、努力を惜しまず「学びの場」に積極的に参画できる人財
- ③ 「学び」を現実に生かす「知恵」に変え、失敗を恐れず、実践できる人財

具体的には、下記人財を想定

- ・企業団体のアーリーミドル層人財  
(次世代の中核を担う成長過程の若手層) (管理職登用前のポテンシャル層)

### 3. 開催日程等

- ① 2026年10月～2027年3月の期間において、延べ14日間ご受講いただきます。
- ② 平日(午前09時30分～午後5時00分まで)の開催を基本とします。
- ③ 講師都合等により、開催日、開催時間、開催場所を変更する場合があります。
- ④ プログラム1日目 2日目は、合宿(1泊2日)を行います。

### 4. 開催場所

- ① 電気ビル共創館7階(福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号)
- ② 開催会場が異なる場合、別途ご案内いたします。
- ③ 合宿予定会場: のがみプレジデントホテル(飯塚市新立岩12-37)  
※当ホテルは、碧樹館プログラムの合宿でも利用しております。

### 5. 対象者

- ① 将来の上級管理職、経営幹部として期待される人財
- ② 満38歳以下(今年度39歳になる1987年4月2日～1988年4月1日生まれまでの方)
- ③ 役職不問、MBA等の学位や資格等も問いません。

### 6. 修了の認定

全課程終了後、以下2つの条件を満たした塾生に修了証を授与します。

- ① セッションおよび寺子屋式リーダーシップ対話への出席率80%以上
- ② 各講義後のリフレクションシート提出、および講師指定課題の提出

### 7. 受講料 総額650,000円(消費税込)、内訳は以下のとおり

- ① 受講料600,000円(教材費含む)
- ② 上記以外に次の費用を含みます。
  - ・宿泊合宿費用 ※今年度予定: 35,000円程度
  - ・KAIL主催懇談会費用(講師・OBOG交流会、修了式等)計15,000円程度
- ③ 含まれない費用
  - ・セッション会場又は合宿会場までの往復移動費用
  - ・合宿時を除く昼食費用

## 8. 申込みについて（一次募集）

- ① 対象期間：6月1日（月）～6月22日（月）まで
- ② 派遣枠：1企業団体あたり1名（1枠）まで
- ③ 申込方法：下記Googleフォームより、入力をお願いいたします。
- ④ 予約枠36名に達し次第、募集終了いたします。（先着順）
- ⑤ この期間は派遣枠の確保申込となり、申込時点で派遣者の選定は不要です。

## 9. 受講申込書（派遣者の人選）の提出

- ① 派遣者の選定後、指定様式による受講者申込書のご提出をお願いします。
- ② 提出期間：7月31日（金）まで
- ③ 開講後、塾生変更はプログラム構成上できかねますのでご了承ください。

## 10. 二次募集について

- ① 一次募集期間（上記8.①）終了後、定員枠に空きがある場合のみ案内
- ② 同一企業団体より2人目の派遣も可
- ③ 応募多数の場合は、KAIL会員企業団体様を優先とし、抽選を実施

## 11. 受講環境

- ① デジタルツール（SLACK、Dropbox、電子メール等）を利用します。
- ② インターネット環境を各自で整備ください。

## 12. 申込方法（Googleフォーム）

- ① 下記、二次元コードより、エントリーをお願いいたします。
- ② 二次元コード申込みができない場合は、別途ご連絡ください。

### 【Googleフォーム】



## 【 2025年度16期修了生 ～受講を終えて～ 】

### 本プログラムを通じ、自分自身の「殻」は何でしたか？ また、今後どのように向き合っていきたいですか。



株式会社NTTドコモ  
荒巻 泉さん

自身の「殻」は自分で引いた境界の中に留まり、世界を自己完結させていたことでした。

これまで、他者や社会に対して自分なりに考えや課題意識を持っていながらも、自分の言葉で表明し、他者へ働きかけ、自ら変えていくことを避けていました。

しかし、本プログラムで講師陣や同期からの問いや揺さぶりを通じて、**自身の価値観や在り方と向き合い続けたことで、自分自身の足りていない部分や、真にやりたいことに気づきました。**

また、その実現のためには、自らがまず変わり、一歩踏み出して行動することが必要であると実感しました。

今後は、問い続けることと同時に、その中で見えてきた答えを自らの責任で引き受け、行動に移していきます。



住友商事九州株式会社  
齋藤 雄一さん

本プログラムで私が向き合った「殻」は「分かっているつもりで、安全な場所に立ち続けていた自分」でした。

これまで私は、一定の成果を出し、ビジネスに対する考え方や経験も積み重ねてきた一方、本気で人や組織の変化に踏み込む場面では無意識のうちに一步引き、評論家の立場に留まっていたことに気づかされました。

**違和感を覚えた時、感情が動いた時こそ「自分は今、当事者か、それとも安全圏にいるのか」**

**と自問し、行動を選び直すことで、この殻と向き合い続けていきます。**



株式会社JTB  
林田 遼さん

私の殻は「今を言い訳にして、未来と向き合うことから避けてきたこと」です。自身のリーダーシップ像を明確にするという点はもちろん、キャリアビジョンが描けないという悩みを持っており、その答えを見つけることも今回の目的の一つでした。様々なリーダー、研修同期メンバーとのセッションを通じて、**未来をイメージする事の大切さ、未来をつくるのは今の自分であるということに改めて気づきました。**

自分の未来をどこか他人事のように過ごしてきましたが、今後はもっと自分自身と向き合い、仕事・プライベート共にやりたい姿やイメージを明確に描きたいと思います。

自分の可能性を信じて、未来からの逆算しながら現在の自分の立ち位置を確認し行動することを意識してまいります。

## 【 2025年度16期修了生 ～受講を終えて～ 】

本プログラムを通じ、ご自身の「心持ち」や「行動」、「考え方」等どのような変化が起きていますか。また、それはなぜそのような変化が起きたとお考えですか。



九州電力株式会社  
鶴崎 大輔さん

最も大きな変化は、仕事に向き合う起点が「何をするか(DO)」から「自分がどうありたいか(BE)」へ、そして動力源が「テンション(外圧)」から「モチベーション(内発的動機)」へ切り替わったことだと思っています。

常に「この業務を通じて自分はどうありたいのか、組織をどうしたいのか」という自らの内なるBEを起点に問いを立てる思考へと変化しました。

この変化は、チーム活動の中で「社会課題」という大きなテーマに行き詰まり、徹底的に自己開示と対話を繰り返したことで起きました。



西部ガスホールディングス株式会社  
浅尾 真士さん

受講前は、自分の役割を果たすことを第一に考え、チームや組織を“支える側”としての意識が強い状態でした。

受講後は、自分が起点となって場や対話を生み出し、周囲に影響を与えていくことの重要性を意識するようになりました。

この変化の背景には、チームビルディングや対話を通じて、「安全な場」が人の行動や思考を大きく変えることを体感した経験があります。

自分が一歩踏み出し、弱さや迷いをさらけ出すことで、周囲との対話が深まり、チーム全体の熱量が高まっていく過程を実感しました。

その結果、完璧であることよりも、「本気で関わること」「まず行動すること」に価値を置く考え方へと変化しました。



株式会社クラフティア  
清水 麻里さん

受講前は、与えられた役割の中で最適に動くことを重視していましたが、受講後は「なぜそれを行うのか」という本質から捉え、自ら意味づけして行動する意識が強くなりました。

加えて、チームでの議論や発表を通じて、曖昧なテーマに対しても自分なりの定義を持ち、他者とすり合わせながら答えを創り出す姿勢が身につきました。

こうした変化は、多様な立場の人との対話やフィードバックを通じて、自分の考えを言語化し続けた経験によるものであり、単に「正解を探す」のではなく「自ら問いを立てる」思考へと転換できたことが大きいと感じています。

(セッション形式)



(寺子屋式リーダーシップ対話形式)



# KAIL

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82電気ビル共創館 7階  
TEL : 092-726-1861 FAX:092-726-1869  
E-mail : [info@kail.jp](mailto:info@kail.jp)



【Map】

